

H-ⅡAロケット25号機による
静止気象衛星「ひまわり8号」の打ち上げについて
(内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話)

本日、H-ⅡAロケット25号機により、静止気象衛星「ひまわり8号」の打ち上げが成功したとの連絡を受けました。

気象衛星は、天気予報や台風の予測など国民生活に深く浸透し、安全・安心に不可欠なものとなっております。今回打ち上げられた「ひまわり8号」は、従来よりも観測頻度、画像の分解能など衛星の性能が強化され、これまで以上に活用が広がるものです。今後、衛星の運用が順調に進むことを期待しています。

また、今般、我が国の基幹ロケット(H-ⅡAロケット、H-ⅡBロケット、イプシロンロケット)の打ち上げが24回連続で成功したこととなりました。

このような信頼性の高さは、我が国の自律的な宇宙活動を支えるものであり、宇宙利用を拡大していく上で重要な意義を持つものです。

引き続き、内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、宇宙開発利用に関する取組を積極的に推進してまいります。

平成26年10月7日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
山 口 俊 一